

放射線安全フォーラム / NPO Radiation Safety Forum
第87回放射線防護研究会 / The 87th Symposium on Radiation Protection Dosimetry
「アジアにおける自然放射線に関する最近の研究」
「Recent Researches on Natural Radiation in Asia」

開催趣旨

原子放射線の影響に関する国連科学委員会(UNSCEAR)2000年報告によると、一般公衆が1年間に受ける自然放射線源による被ばく線量は世界の平均値として2.4 mSvとされている。この値は法律で規制される原子力施設等から放出される放射線による線量の一般公衆に対する限度(1 mSv/年)の2倍以上である。しかし、この自然放射線源による被ばくの程度やその要因・内訳は国によって様々であり、UNSCEARによる報告値は大きなばらつきのある中の平均値に過ぎない。世界の人口の約半分を占めるアジア地域での自然放射線源による被ばくの実態やそれによる人体への健康影響を調べることは世界規模で意義深いものとなる。

今回の研究会では、アジア諸国におけるラドン・自然放射線研究の現状に焦点を当て、日本在住のラドン・自然放射線研究の国外専門家と留学生を招き、海外における室内ラドン調査の現状を紹介します。

According to the 2000 report of the United Nations Scientific Committee on the Effects of Atomic Radiation (UNSCEAR), the average annual exposure dose of the general public from natural radiation sources is 2.4 mSv. This value is more than twice the legal limit for the general public (1 mSv/year) from radiation emitted from nuclear facilities or other man-made sources. However, the degree of exposure to natural radiation sources and their causes vary from country to country, and the value reported by UNSCEAR is merely an average value within a large variation. It is meaningful on a global scale to investigate the actual state of exposure to natural radiation sources in Asia, which accounts for about half of the world's population, and the resulting health effects on the human body.

This Symposium focuses on the current state of radon and natural radiation research in Asian countries, and introduces experts on radon and natural radiation researches and international student living in Japan to introduce the current state of indoor radon surveys overseas.

記

1. 日時、場所

日 時 : 2025年6月21日(土)14:00~17:00

場 所 : ZOOM Webinar 及び株式会社千代田テクノル本社2階会議室によるハイブリッド開催

※コロナ感染拡大防止の対策として現地参加は先着20名様に絞らせていただきます。

※参加される方は参加フォーマットにて「WEB 参加」「現地参加」いずれかを選択願います。

2. プログラム

司 会 : 反町 篤行 (東洋大学 / 放射線安全フォーラム 企画委員)

※講演の初めに、司会より本研究会の概要を日本語にて説明します。

講 演 : 講演時間 40 分(仮) + 質疑応答 5 分(仮) (※英語発表, 通訳無し)

(1)「バングラデシュにおける自然放射線と放射能」

「Natural Radiation and Radioactivity in Bangladesh」

Hasan Md Mahamudul University of Tokyo

(2)「中国の代表的な地域における屋内ラドン濃度のモニタリングと分析」

「Monitoring and analysis of indoor radon concentration in typical regions of China」

Hu Jun National Institutes for Quantum Science and Technology

(3)「インドネシアの首都ジャカルタで使用されている建築材料からの放射線被ばくの評価」

「Assessment of radiation exposure from building materials used metropolitan Jakarta, Indonesia」

Radhia Pradana Hirotsuki University

総合討論(※英語討論, 通訳無し) 講演者と Chutima Kranrod (Hirotsuki University)、反町篤行が参加

※ 本研究会での、録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参 加 費 : (放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般 : 2,000円

学 生 : 無料 (HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

6月13日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み: ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。

参加される方は必ず受付フォームより参加申込みをお願いいたします。上記サイトより申し込みされていない方、参加申し込みのない方は、当日参加できない可能性もございます。なお、定員に達した後、または、受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日: 2025年6月13日(金) 17:00

6. 問 合 せ: mail@rsf.or.jp

[懇親会] プログラム終了後、茶菓子を用意し、現地参加者が参加可能な懇親会(お茶会)を、1時間程度を予定しております。併せてご参加いただければ幸いです。懇親会参加費は別途500円となります。(懇親会参加費のお支払は現地でお受けします。)